



学校だより ふうしゃ

令和元年12月17日
アムステルダム日本人学校
No. 15
<http://www.jsa.nl/>

令和元年度学校アンケートの結果について

2学期も最終週となりました。子どもたちは寒さに負けず、毎日元気に学校生活を送っています。保護者の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動にご協力、ご理解をいただきまして、ありがとうございます。

さて、先日ご協力いただきました学校アンケートの結果につきまして、お知らせいたします。アンケートの結果を分析し、3学期からの教育活動に反映させていきます。さらに、保護者の皆様のお考えをしっかりと受け止めて改善を図り、次年度の教育活動がより充実するよう、役立てて参ります。今後とも、ご意見、お気づきの点などがございましたら、ご遠慮なくお聞かせいただければ有難く思います。なお、この結果につきましては、11月22日に開催されました、学校理事会でも報告させていただきました。

質問1 学校や学級で楽しく過ごしていると思いますか。

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は、児童・生徒が95%、保護者は97%に達しており、「楽しく過ごしている」という評価を得ている。

質問2 学習内容を理解できていますか。

「そう思う」「どちらかというと思う」の合計は、児童・生徒が96%、保護者は93%に達しており、「学習内容を理解できている」という評価を得ている。しかし、教員の75%が「どちらかというと思う」と回答していることから、児童・生徒の理解に対して、さらに定着させる必要があると考えていることがわかる。

質問3 友だちと仲良く協力して活動していると思いますか。

保護者は「そう思う」「どちらかというと思う」が98%に達している。児童・生徒は75%が「そう思う」と回答しており、昨年度よりも数値が上がった。また、「どちらかというと思う」「そう思わない」「そう思わない」の数値も減少した。昨年度から始めたいじめや交友関係に関するアンケートやその後に行った教育相談、スクールカウンセラーによる教育相談が、効果的であったと考えられる。一層きめ細やかな支援を続けたい。

質問4 進んで健康づくりや体力づくりに取り組んでいますか。

児童・生徒の「どちらかというと思わない」「思わない」が10%と、昨年度とほぼ変わらない。一方で教師は、「思う」「どちらかというと思う」が81%と昨年度より増加した。これは、教師は健康づくりや体力づくりの取り組みに改善が見られたと捉えているが、子どもたちはもっと体を動かしたいと考えているようである。更なる改善が必要である。

質問5 学習面・生活面での相談に応じていると思いますか。

三者ともに「そう思う」「どちらかというと思う」が昨年度よりかなり増加した。昨年度は教師の14%が「どちらかというと思わない」と回答していたが、今年度は100%の教師が「そう思う」「どちらかというと思う」と答えている。教育相談における課題改善に向けた実践が数字に表れたと言える。

質問6 学校は、子どもの実態に応じた授業改善・工夫をしていると思いますか。

「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した教師が0%であり、昨年度の29%から大きく改善されたが、保護者の20%が「どちらかというと思わない」「思わない」と回答していることは見逃せない。

質問7 一人一人にきめの細かい指導を心掛けていると思いますか。

この質問も、質問6と同様に、「どちらかというと思わない」「思わない」と回答した教師が0%であったにも関わらず、保護者の22%が「どちらかというと思わない」「思わない」と回答している。

質問6との回答と併せて、この結果を肝に銘じ、今まで以上に授業や学級経営に工夫・改善を図りたい。「1時間1時間の授業を大切に、教師は授業で勝負する」を念頭に置き、教材研究をしっかりを行い、更なる授業力の向上を目指したい。

質問8 学校・学級の教育の方針がわかりやすく伝わっていると思いますか。

保護者は「そう思う」「どちらかというと思おう」が87%で、昨年度同様に、一定の評価は得ている。これからも、学校や学級の方針を懇談や学級通信、学校だより等で明確に伝えていくことが必要と考えられる。

質問9 学校は、子どもたちの安全のために努力していると思いますか。

保護者は「そう思う」「どちらかというと思おう」で98%であり、高い評価を得ている。今後も継続して児童・生徒の安全に努めたい。

質問10 学校は、特色ある教育活動を積極的に行っていますか。

保護者、教師ともに「そう思う」「どちらかというと思おう」で高い評価に達している。現在の特色ある教育活動を継続していくとともに、更に充実させていきたい。

【 その他の意見や要望等 】 ○意見 ●改善要望

- 安全で楽しく充実した学校生活を送っている（11名）
- 少人数であり、授業も楽しく理解できている（8名）
- 先生は子どものことを理解してくれている。子どもは先生が好きだ（6名）
- 日本では経験できない現地との交流や体験学習は素晴らしい（5名）
- 学習指導について（21名）
 - ・ 授業の充実 ・ 学力の低下 ・ 読解力の低下 ・ 学習訓練の徹底 ・ ドリルの活用
 - ・ 教師の指導力の向上 ・ 理科の実験用具の充実 ・ 進路指導の充実 ・ 教科担任の充実
 - ・ 学力テスト、実力テストの実施方法 ・ PC、タブレットの使用
- EL、NL、英語の授業について（9名）
 - ・ 教師の言動 ・ 厳しい指導 ・ 初級クラスはついていけない
- 運動不足について（6名）
 - ・ 部活がない ・ なわとび以外で継続して運動できる取組 ・ 水泳教室の回数と内容
- 日曜参観、個別懇談、学級懇談について（4名）
 - ・ 開催時期、曜日 ・ 担任の話をもっと聞きたい ・ 事前に内容を知りたい
- 読書活動の充実について（4名）
- 友人関係について（3名）
- スクールバスの運営について（3名）
- PTA イベント委員、アルバム委員の負担過多について（2名）
- 緊急連絡網や学級だよりはメール配信にしてほしい（1名）
- ランチの時間を長くしてほしい（1名）
- ランドセルやカバンが重い（1名）

今年度の学校アンケートの結果では、全体的に「そう思う」「どちらかというと思おう」の回答が昨年度に比べ、増加しました。しかし、「どちらかというと思わない」「思わない」の回答が20%を超える質問項目もありました。この結果を真摯に受け止め、教職員一同、よりきめ細やかな支援をする必要があると考えました。

子どもたちが、楽しく安心して学校生活を送れるよう、教職員一同一丸となって努力していく所存です。今後とも、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。